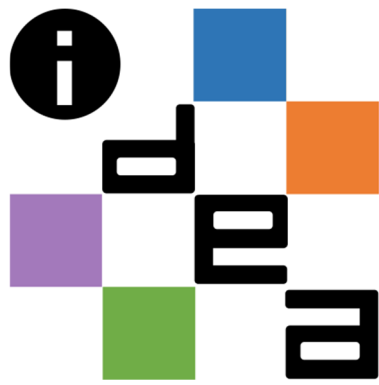


NPO・行政・企業・地域の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。
ニュースレター アイデア



2018

3月号

つながり×ひろがる

いちのせき市民活動センター



- | | | |
|---|---------|------------------|
| 2 | 二言三言 | 二言三言な人々 |
| 3 | 団体紹介 | 川崎コーラスの会 (川崎) |
| 4 | 地域紹介 | 一関 三関2民区 (一関) |
| 5 | 企業紹介 | 不二家乳業株式会社 (大東) |
| 6 | センターの〇〇 | センターの自由研究 “かま神様” |

フタコト×ミコト 二言三言な人々

平成 26 年の 6 月号から始めた「二言三言」ですが、数えるところ過去 45 回で全 116 人の市民の方に対談・出演していただきました。今回は特別号として、平成 29 年度の 1 年間で紙面に登場していただいた方を写真で振り返ります。

4月号



一関地区まちづくり推進協議会
コミュニティ検討部会
会長 若山 義典 さん

5月号



中学 2 年生に
新垣勉コンサートを贈る会
代表 吉田 恵子 さん

6月号



猿沢羊養づくりに取り組む「まごころ弁当」
会員の皆さんと、「猿沢地区振興会」
まちづくり委員会の皆さん

7月号



日本空糸株式会社
代表 伊藤 徳光 さん

8月号



On Sunday (s)
代表 工藤 正隆 さん

9月号



油島なのはな協議会
地元学研究部会
山川 純一 さん

10月号



「イチコレ」市民モデル
佐々木朋美さん、千葉エミさん、
吉田ひろみさん

11月号



造形おじさん(幼児造形指導員)
菅原 順一 さん

12月号



岩手県立天東高等学校 バスケットボール部
顧問 新井 靖明 さん

1月号



子育てクラブこっくらぼ
主将 岩渕 福美さん
副主将 佐藤 友紀さん
庶務会計 岩渕 城光さん

2月号



車いすラグビー元日本代表監督
岩渕 典仁 さん

一関市には地域で活躍されている方が
まだまだたくさんいらっしゃいます。
そんな方々の取り組みや想いを、対談
を通してこれからもご紹介していきます
のでどうぞお楽しみに！

団体紹介



代表 佐々木孝幸さん（中央）
と会員の皆さん

～基本情報～

- ◆代 表：佐々木孝幸さん
- ◆住 所：〒029-0202
一関市川崎町薄衣字法道地 59-7
- ◆電 話：0191-43-2525
- ◆活動日：毎週金曜日・19時～21時
(場所：川崎市民センター)

歌とおしゃべりで暮らしを楽しく

きれいな歌声に心動かされ

毎週金曜日の夜になると川崎市民センターから聴こえてくる美しい歌声とメロディー。昭和 62 年の 6 月に発足した「川崎コーラスの会」は、川崎地域で初めてできた市民の合唱団体で、40 代から 70 代の男女 11 名が所属し、文化祭等で発表する歌の練習と会員相互の交流を深めながら楽しく活動しています。

「皆の歌声がきれいにハモった瞬間が気持ち良い」と笑顔を見せるのは、今回お話を伺った会の代表を務める佐々木孝幸さんです。高校時代はハーモニカバンドに所属し、様々なジャンルの音楽を聴くことを趣味としていましたが、コーラスはよく聴いたことがなく、社会人になってからは音楽活動をしばらく休止。そんな中、同級生の奥さんに「一度、会の歌を聴きにござい」と誘われ、そこで聞いたきれいな歌声に心動かされ、間もなく会の一員に。「なぜこんなにコーラスにハマってしまったんだろう」と首を傾げながらも、毎回の練習を楽しみに 30 年以上通い続けています。

「川崎にコーラスの会ができるみたい！」

「川崎にコーラスの団体ができる」と話題になった昭和 62 年当時、会発足の発案者で初代代表を務めた千葉昌男さん（故人）は旧川崎村の教育長を務めていました。会を立ち上げるためあちこちに働きかけるなど「とても素晴らしい方だった」と振り返る佐々木さん。教育長退任後も、自宅がある盛岡から川崎を往復して歌唱指導や指揮を行い、多い時では 45 名ほどいた会員をリードしてきました。

その後、歌唱指導や指揮が別の方に変わっても“歌詞の心をよく味わって歌いましょう”というモットーは変わらず。音符を追うだけではなく、中味を味わっ

て歌うことが美しい歌声を創り出すということを念頭に置き、歌詞を頭に入れ楽譜を見ないで歌うことを基本としています。以前は歌詞を手話で表しながら歌うコーラスに挑戦した年もありましたが「年配の方が多いので、さすがに最近では頭の回転が鈍ってきてね」と苦笑い。皆ができる内容とペースで活動に取り組んでいます。

人が集まり話す場こそが大切

練習の合間の休憩時間は世間話などの雑談で盛り上がります。会員は職業も年齢も違う人同士だからこそ話す内容も様々。佐々木さんは過去に自治会長や民生委員を務めていた経験から「人が集まり色々な話をするのが一番良い。何気ない会話や情報交換が皆の楽しみや笑顔をつくり、『あの人最近（活動に）出てこないね』とか自然に人を気にするようになる。特に男性は年を取るにつれ家に引きこもりがちになる人もいるし、人と顔を合わせることで安否確認にもなる」と語ります。“来る人拒まず”の同会には、会員の家族をはじめ地域のどなたでも活動に参加できるようにしています。

同会では歌の発表のほか、コンサートの企画も行っています。平成 30 年 3 月 31 日には、川崎町薄衣出身の音楽家である「レジェンド」の菅原浩史さん、元「東京混声合唱団」の松岡洋一さんを招いて行う「川崎ツインコンサート 川崎音楽祭」を予定。2 人は現在同会で歌唱指導とピアノ伴奏を行っている吉田富美恵先生のピアノ教室の教え子で、2 人を幼い頃から知る会員もいるそう。ステージでは同会とのコラボレーションもあり、今はその練習に力を入れています。



2015 年に開催した「レジェンド」
コンサートで撮った記念写真

地域紹介



区長 山田 匡 さん

～基本情報～

- ◆区長：山田匡さん（1期1年目）
- ◆元の真滝1区は平成2年に三関区となり、さらに平成5年に4つに分区されました。その内の1つである三関2民区は一ノ関駅から約500m東に位置し、341世帯786人が暮らしています。

気軽にあいさつできる環境づくり

慣例の見直し

「三関に来て40年近く経つが、地域でのしがらみは感じない」そう語るの今回お話を伺った三関2民区（以下「2区」）区長の山田匡さんです。2区では29年度の総会で、半数近くの条文に手を加えたかなり大規模な規約改正が行われました。曖昧だった部分（役員の選出過程や役割など）をより明確にしており、しばしば「辞められないから引き受けたくない」と言われることもある役員についても、任期を通算4年までとするなど個人（家庭）の負担軽減に配慮しています。

その後の役員改選で新区長に選出された山田さんは、PTAなどの活動経験やしがらみのなさを活かし、「みんなで取り組む」「なぜ？を考える」というスタンスで、従来の慣例に囚われない活動に取り組んでいます。

例えば、民区広報の作成もあえて役員持ち回り制とし、出来栄えそのものより「みんなで取り組む」ことを優先しています。そこには多少の失敗はみんなでカバーしつつ、経験のない人でも役員が務まる仕組みづくりを目指すという意志が込められているのです。

多様な住民をハッピーに

現在2区には戸建て住宅のほかにアパートも多く、有料老人ホーム・高校生を受け入れている下宿・各種事業所などもあり、国籍・性別・年齢・生活様式など多様な住民が暮らしています。「住民同士がお互いの多様性を認め合い、短期間だけここに住む人も含め、それぞれが『ハッピー』『ここに住んで良かった』と思える地域にしていけたら」と前を見据える山田さん。

新年会・親睦会のほか、防災上の配慮などによる老人ホームの会議・避難訓練への参加や、民区広報での事業所紹介。さらに下宿の高校生達の一斉清掃参加など、多面的な連携の取り組みも生まれてきています。

「さもない」関わりと「ふれあいロード」

山田さんは住民が『ハッピー』な気持ちで生活する上で「同じ地域に住んでいる者同士が気軽にあいさつできる環境」を重視しています。そこで、2区の取り組みの中で最も参加率が高いのが春秋の一斉清掃であることや、ゴミ集積所へゴミ出しをする往復途中が、多様な生活様式の住民同士が顔を合せやすい機会になっていることを踏まえ、ゴミ集積所を基点とし、これらを結ぶ道路を「さわやかステーションふれあいロード」と命名。現在ふれあいロードですれ違う人同士があいさつすることを目指す取り組みを始めています。

「地域の繋がりがあってこそインターネットより早く地域の情報がわかる」という山田さんは、「とは言っても、地域の繋がりは決して強制したり深く踏み込むことでできるものでもないと思う。ハリネズミのようにつかず離れずの距離感を意識し、あいさつというある意味『さもない』関わり合いを持つことができれば、繋がりはそこから生まれてくるのではないかと続け、力まず気持ちに余裕をもって向き合う姿勢を見せます。

「人には寿命の長さに関わらず、人間として生きてきた幸せというものがある。誰かを支える期間と同じだけ誰かに支えられる期間があることに気付き、変えられない過去ではなく変えられる未来に向かって納得いく人生を送ることができるかどうか」そう語る山田さんからは、区長として誰かを支え、2区の未来に向け納得できる仕事をしようとしている、そんな想いが強く伝わってきました…。

桜町中学校への通学路でもある「ふれあいロード」には、今日もあいさつの声が響いています。



ゴミ集積所(手前左)を結ぶふれあいロード

企業紹介



取締役 加藤国男さん

～基本情報～

- ◆取締役：加藤国男さん
- ◆住所：〒029-0523
一関市大東町摺沢字沼田 27
- ◆電話：0191-75-2215
- ◆FAX：0191-75-3385
- ◆HP：<http://www.fujiya-m.jp>

先人たちの夢「工場誘致は自分たちの手で」

地元酪農家とともに工場誘致運動を

“ペコちゃん”の人形が愛らしく出迎えてくれる不二家乳業株式会社。旧大東町の第1号誘致企業である同社は、牛乳、クリーム、ソフトクリーム、練乳などを製造し、市内小学校や中学校の給食に欠かせない牛乳でお馴染みの企業です。

「弊社は小さな民間会社ですが、地域農業と大きく関わりのある企業。先人たちの思いが今ここにあるのです」と語るのは取締役の加藤国男さんです。

加藤さんは地元の高校卒業後、不二農産工業株式会社（現不二家乳業株式会社）に入社。平成17年から平成22年までは工場長として尽力し、その後も取締役（非常勤）として運営にかかわっています。

誘致に至る背景を伺うと、「この地域は、昔は耕地が少ないために長い間たばこ生産、養蚕、木炭とわずかな稲作を生業とし、町民所得は岩手県平均所得の6割程度だったそうです。戦後、昭和24、5年あたりから酪農の先駆者が現れ、昭和30年代に入り酪農家戸数が増えはじめたと聞きましたが不安定な収入だったようです。旧5町村が合併し新生“大東町”が誕生したのは昭和30年4月。その後まもなく株式会社不二家が『岩手乳製品工場計画』を発表し郡内各町村トップが誘致運動を展開したそうで、初代大東町長も低所得農業を打破すべく工場誘致の実現を目指し、酪農家と共に誘致運動を推し進めたそうです」とのこと。

当時、工場誘致の最低条件は「生乳1日120石（約22t）の確保」。これを達成するため「工場誘致は自分たちの手で」を合言葉に酪農家有志と行政がさらに運動を展開し、それまで個々に業者と提携し生乳を収めていた224戸の酪農家から賛同をもらい、最初の集乳日には、なんと207石（約37t）もの生乳を集めるこ

とができたのです。「思いがけず」という言葉がぴったりかもしれない」と当時の様子を加藤さんは表現します。

地域から広域へ

昭和37年8月、地域の酪農家の思いが伝わり、正式に不二家乳業株式会社の前身“不二農産工業株式会社（独立採算制）”が設立され、近代的なコールドセンター（酪農家から集乳された生乳の検査・冷却・一時保管、乳業工場に向けた出荷作業）を建設、その後、乳製品工場を増棟。東北全域で市販する牛乳・東磐井郡内の学乳、ミルキーの原料となるコンデンスミルクやケーキ用ホイップクリームの生産がスタートしました。平成元年には名称を「不二家乳業株式会社」に改め新工場を増設。設立当初は大東町全域と千厩町の一部酪農家から集乳していましたが、現在は一関市・平泉町全域から集乳し学乳も市内だけではなく大船渡市、陸前高田市、住田町まで広がりました。

将来を担う子どもたちへ

また、同社では、牛から絞られた乳がどのような工程で製品化されるのかなどを学んでもらおうと小学生を対象とした工場見学、中学生や高校生の職場体験も積極的に受け入れています。「将来を担う子ども達に地元先人たちの思いを伝え、感じてもらいたい。そして地域に誇りを持ってもらえたら」と願いを込め、「これからも地産地消と郷土発展のため、町内誘致第1号として誇りを持ち社員一同努力していきたい」と熱く語っていただきました。



会社の屋根には可愛らしい“ペコちゃん”“ポコちゃん”がお出迎え
地元のお祭りなどで保健所の許可があれば、ソフトクリーム
製造器（台数に限りあり）を貸し出すことが可能とのこと

センターの ○○!



一関市千厩町小梨字不動地内にある県指定有形文化財の古民家「村上家住宅」の“かま神様”は土製で作られており、土壁で柱に接着されています。

皆さんは、“かま神様”というものをご存知でしょうか？新しい家だとなかなか目にすることは少なくなったかもしれませんが、比較的古い家だと、今でも台所の柱や壁などの高い位置に“かま神様”が“ドーン”と飾られているところもあるようです。

大東町渋民地区からの情報で「大東地域のかま神様は笑顔。普通だと思っていたが珍しいのか？」という情報がありました。この「“かま神様”＝怒っている顔」の印象があったので、スタッフもビックリ！！そこで、笑顔のかま神様は大東地域に限られているのか、調査してみることにしました。

かま神様とは？

東北地方の宮城県から岩手県南部の地域、いわば伊達藩領の一带では、日常生活の拠点ともいえる火を取り扱う場所、家族を養う命にかかわる食物を煮炊きする“竈（釜）”がある場所を、最も大事な場所としてきました。

その大事な場所に“かま神様”と呼ばれる面を飾ることで、火難、盗難、悪疫除け、魔除けなどのほか、福を呼び、家の繁栄を招くと言われ伝えられており、家の火所で祀る神として信仰されてきました。

一般的な祀り方としては竈（釜）の近くに神棚を設けてお札を納め、お正月をはさんでしめ縄を張り、御幣束を飾る・お供え物をするといった形。あらゆる神様が出雲に集まるという神無月にも「“かま神様”だけは残って家を護り続ける」と言われ、地域や家々にもよりますが「しめ縄やお神酒、お供え餅などは1年中上げたまま」というところもあるようです。

誰が
作ってるん
ですか!?

“かま神様”は家を新築するときに関わった大工や左官などの職人さんが、木材（けやき、杉、松など建築に使用する木材）や粘土（建築に使用する壁土）などの材料を使って彫ったり焼物にして製作していたとの伝えが多いようですが、その家の先祖の人（当時の家主など）が作るということもあったようです。

面の
大きさは
どれくらい?

小さいもので縦横約 20cm ですが、大きいものでは縦横約 60cm とかなり大きく迫力があります。

様々な文献を調べると、一番古いものでは、藤沢町の土製で作られたかま神様（口伝えで享保年間(1716~36)らしいのですが、現在もあるのかどうかは残念ながら調査できませんでした。ちなみに、藤沢町のかま神様は土製が多く、目や口を貝殻などで粧飾していたようです。沿岸に近いからなのでしょう？）

かま神様の名称は様々

カマガミサマ、カマベットウ、カマベットウサマ、カマカミ、カマドカミ、カマダイコクなどありました。今回はもっとも多く呼ばれている名“カマカミ”に“様”を付けて、そのお面について表記しております。

調査結果

聞き込み調査において一関市内全体としては、“かま神様”は「怒った（憤慨している）ような顔」という答えが多数を締めていました。それに対し、大東地域では「笑った顔（笑顔）」という回答が圧倒的に多くその感覚に違いがあることがわかりました。ちなみに室根地域では「最初は笑っていなかったが、月日が経つにつれて笑ってきた」というびっくり仰天の話も聞けましたが、各地域の参考文献を読み進めると、な！！なんと！！意外な調査結果がでたのです・・・実は“かま神様”意外と表情豊かでした！

- ・ 邪悪なものを一喝するような怒りに満ちた顔（認識が一番多かった怒ったような顔）荒神様、鬼面相
- ・ 内に秘めたる怒りの顔（無表情も含める）
- ・ 家主に似せた人間味のある顔（ひよっとこのような顔も含める）
- ・ 恵比寿様のように幸せそうな微笑んだ顔
- ・ 大黒様のようにニッコリ笑顔の顔



今回の調査では、“かま神様”の各資料を見比べてみても、笑顔の“かま神様”は大東地域が圧倒的に数として多く、その他の地域では怒ったような顔（口元が『ムッ』としている）をしている“かま神様”が資料の多きを飾っていました。一説によると、「笑っているのは明治以降」という話もあり、その理由の一つとして「怒っているよりは笑っている顔がいいということで途中からつくられた」という話も聞けましたが、たしかに怒った顔の神様が台所にいるよりも笑った神様のほうがなんだか子どもたちも怖がらず、いいような気がするなど感じたところでした。

参考文献

- ・ 大東町文化財調査報告書 第12集 大東町のかま神 大東町教育委員会
- ・ 花泉町文化財調査報告書 第7集 花泉町のかま神 花泉町教育委員会
- ・ 室根村文化財調査報告書 第9集 室根のかま神 室根村教育委員会
- ・ 藤沢町文化財調査報告 9集 藤沢のかま神さまとおしらさま 藤沢町教育委員会
- ・ 郷土史研究資料第10 かま神信仰とその背景 -東磐井地方を中心に- 畠山喜一
- ・ 千厩町文化財調査報告 第3集 千厩町のかま神様オシラサマ 千厩町教育委員会
- ・ 昭和59年度文化財資料集（民族編）川崎村の神々 川崎村教育委員会
- ・ かまど神と「はだかかべ」 新長明美
- ・ 東北かま神図説 細川 魚紋子
- ・ 東磐井郡誌 岩手県教育会東磐井郡部会
- ・ 平成14年度 研究紀要 第32集 岩手県南史談会

この調査で、「台所に立つもう一人の神様、奥様もいつでも笑っていたほうがいいよね」と、男性スタッフが言ったとか、言わなかったとか・・・



おしらせ

一関

ほんでら春フェスタ 第4回「～風と光と～」

今年で4回目となる「ほんでら春フェスタ」を開催します。ハンドメイド作品を展示・販売するマルシェや、H&G(Happy&The Gang)さんをはじめとするライブを開催。

霊峰・須川岳と中世荘園の村・本寺が、今年も皆さまを温かく迎えます。

【日時】平成30年3月4日(日)10時～15時

※ライブは12時20分～16時40分

【場所】骨寺村荘園交流館「若神子亭」ほか

【料金】入場無料 ※ライブチケットは500円

【問合せ】0191-33-5022(場所と同じ)

千厩

パッチワークまつり in おくたま 2018

市内で創作活動を行っているサークルや団体の皆さんの作品展示、パッチワークやキルト材料などの販売、エレクトーンやピアノのミニコンサート、青森県在住のパッチワークキルト作家である秋田景子さんの教室(※要事前申し込み)を行います。

【期間】平成30年3月10日(土)～11日(日)

【時間】10時～16時(予定) ※但し11日は15時まで

【場所】奥玉市民センター、千厩維新館(隣接)

【入場協力金】300円(小学生以下無料)

【問合せ】0191-56-2950(場所と同じ)

一関

春休み親子のコンサート 音楽の絵本

金管五重奏「ズーラシアンブラス」と弦楽四重奏「弦(つる)うさぎ」が、クラシック音楽から映画音楽、童謡を演奏します。動物たちが奏でる多彩な音楽の世界をお楽しみください。※0歳から入場できます。

【日時】平成30年3月24日(土)

開場13時15分 開演14時

【場所】一関文化センター大ホール

【料金】おとな1,000円(当日1,300円)

子ども500円(当日600円)※3歳～中学生

【問合せ】0191-21-2121(場所と同じ)

川崎

川崎ツインコンサート 川崎音楽祭

川崎町薄衣出身の歌手菅原浩史さん(レジェンド)と、松岡洋一さん(元東京混声合唱団)の2人によるツインコンサートを行います。ラストには川崎コーラスの会とのコラボレーションも披露。声が重なり生まれる美しいハーモニーを体感しましょう。

【期日】平成30年3月31日(土)

【場所】川崎市民センター

【料金】チケット 2,000円

※川崎市民センターで購入できます。

【問合せ】0191-43-3112(場所と同じ)

一関

アジアパーカッション 一関ライブ

パーカッション奏者の吉見征樹さん、秀さん、和田啓さんによるライブを行います。

リズム楽器でありながら限りなくメロディアスなそのグルーブは必聴必見! 楽器解説もあり、エネルギーが楽しいライブです。

【日時】平成30年4月19日(木)18時30分から

【場所】蔵のひろば2F(一関市田村町 8-12)

【料金】チケット 2,500円

※チケット購入については下記問合せ先まで。

【問合せ】0191-23-9012(菅原)

一関

すずめ踊り教室 (NPO法人グッジョブクラブ)

仙台・青葉まつり等で躍られる「すずめ踊り」は、扇子を両手に持ち軽快なステップで舞う伝統的な踊りです。アップテンポなリズムで躍りますが、慣れない方はゆっくり踊ることもできますので子どもから年配の方まで楽しく踊ることが出来ます。※練習は毎月末(土)に行っております。どなたでもお気軽にご参加ください。

【練習日】平成30年3月24日(土)10時から

【練習場所】一関修紅高校武道館2F

【参加費】500円/1回(初回体験:無料)

【HP】<http://gjclub.web.fc2.com/index.html>

一関

演劇サークル団員募集

私たちと一緒に「演劇」をやってみませんか? 年齢・性別は問いません! 演劇に興味がある方など、どなたでもお気軽にご参加お願いします。

【練習日】毎週金曜日 18時30分から

(※練習日は変更になる場合がございます)

【練習場所】山目市民センター

【問合せ】080-1830-0195(演劇サークル/阿部)



地域づくり活動のお助け本 「+NOTE」(タスノート)のご紹介

「+NOTE」は、地域づくりに取り組む皆さまの一助にさせていただこうと、地域づくり活動に必要な基本的な知識から、いちのせき市民活動センターのスタッフ一人ひとりがもつノウハウをぎゅっと凝縮した本です。地域づくり概論から始まり、地域協働の進め方、話し合いの仕方など全7章で構成。皆さんのスキルに「プラス(+)」になり、時には「お!たす!」け!になりますよう、ぜひご活用ください。

【価格】一冊1,000円

【問合せ】0191-26-6400(いちのせき市民活動センター)

全域

「イマカラ」登録者募集

いちのせきの市民活動スタッフバンク、通称「イマカラ」は、一関市内で開催される「スタッフを募集したいイベント」と「地域で活動したい人」をマッチングする仕組みです。当センターのホームページ内「いちのせき市民活動スタッフバンク」のページから無料のスタッフ登録をすると、スタッフを募集しているイベント情報が随時メールにて配信されます。

※18歳以上の方がご登録できます。

【問合せ】0191-26-6400

(いちのせき市民活動センター)

今月の表紙



藤沢町第8区自治会館の近くで見つけた笠地蔵です。地元の方に歴史などをお聞きした結果、残念ながら詳しい経緯などはわかりませんでしたが、昔から近所の方が服を着せてあげたり、笠をかぶせてあげたり、大切にされているそうです。

Q&A

あなたの「知りたい」にスタッフが答えます

Q 「一般社団法人」とはどんな法人ですか?

A NPO法人同様、営利を目的としない活動を行う人の集まりです。基本的な考え方はNPO法人と同様ですが、NPO法人の場合、20の特定非営利活動分野という活動範囲がある一方、一般社団法人は法に触れなければどんな事業でも行うことができます。必ずしも「公益」を目的とする事業内容である必要はないため、実際に医療系学会、資格認定機関など多種多様な用途で利用されています。

